

海鮮チヂミ



遠藤慶玉さん(上三ヶ尾)

①シーフードをフードプロセッサで細かくし、ニラは3～4センチの長さに、ニンジンも千切りにする②チヂミ粉に水を入れてよくかき混ぜたら、①を入れる③中火でフライパンにサラダ油を入れ、②をお玉1杯分ほどすくって、流し入れ、全体にうすく広げる④真ん中にサクラエビを入れて裏返し、焼き色がついたら、出来上がり。タレは材料を小口切りしてすべて混ぜたら完成。

※シーフードの代わりに豚のひき肉にしても子どもたちに好評です。タレは餃子などの揚げ物にもどうぞ。

【材料】4人分：ニラ3束、ニンジン適量、シーフードミックス1袋(約250g)、チヂミ粉1000cc、水450cc、サラダ油・サクラエビ適量、タレ(しょう油200cc、酢大さじ1と2分の1、粉唐辛子大さじ1、砂糖小さじ2、つぶしニンニク小さじ2分の1、炒りゴマ大さじ2分の1、ゴマ油大さじ1、万能ねぎ大さじ2分の1、生の赤・青唐辛子各2個)

なつかしの写真館



写真提供=飯塚茂さん(木間ヶ瀬)

交通安全願って 小学生の鼓笛隊

写真は、昭和37(1962)年5月19日に、東宝珠花付近の県道結城野田線で撮影されたものです。当日、二川小学校では、交通安全週間の行事として、児童たちが鼓笛隊となり、「人は右、車は左」などと書かれた看板を掲げながら練り歩きました。

写真提供者の飯塚さんによると、当日は5年生と6年生が、当時の学校の白い体操服を着て、パレードを行ったそうです。「私も当時5年生で、たて笛を吹いて参加しました。スタートが東宝珠花橋付近で、ゴールが現在のいちいのホール付近だったと思います。車の通行量は少なく、中央線は引かれていませんでしたが、道路はすでにアスファルト敷きでしたね」と話していました。



地区社協訪問(2)

上花輪地区社会福祉協議会

地域社会福祉協議会とは、自治会や民生委員などの団体や個人が協力し、薄れつつある住民同士をつなぐの輪を広げるとともに、生活問題を抱えている人には行政や専門機関への橋渡しを行うなど、地区の実情にあった自主的な福祉活動を行う団体です。

地域人材を活用した交流会



野田かるたなども活用

市内で最も早く、平成元年2月に設立した、上花輪地区社協では、地域の高齢化が進んでいることから、まずは家から出て、

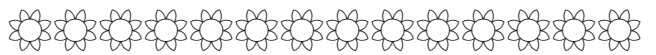
地区社会福祉協議会とは、自治会や民生委員などの団体や個人が協力し、薄れつつある住民同士をつなぐの輪を広げるとともに、生活問題を抱えている人には行政や専門機関への橋渡しを行うなど、地区の実情にあった自主的な福祉活動を行う団体です。

【問合せ】上花輪地区社協・岡本 7122-8696



地域の方のオカリナ演奏会も

どが定期的な指導にいます。また、子どもから高齢者まで楽しめるグラウンド・ゴルフ大会の企画や、独居老人も増えていることから、民生委員の協力を設けるなど、地区の実情にあった取り組みを実践しています。



音がお腹に響いて驚いたとも

参加したのは、1年から5年までの小学生たち。みんなリズムを合わせようと、最初は「ばちさばち」に戸惑いながらも、息が合ったと、迫力のある音を響かせていた。

日本の伝統文化を 体験しながら親しんで

子どもたちに和太鼓の楽しさを知ってもらおうと、関宿中部公民館では、地元のサークルの協力で、11月8日、「こども和太鼓体験講座」を開催した。